硬化性萎縮性苔癬　治療説明･同意書

硬化性萎縮性苔癬は、外陰部に強いかゆみや痛みを伴う刺激感などを生じ、皮疹が出たり白く変色したりする外陰部の粘膜、皮膚の疾患です。進行するとびらんや水疱などを生じたり、排尿障害を起こす場合もあります。

フラクショナル炭酸ガスレーザー療法は、外陰部に点状にレーザーを照射し、線維芽細胞を活性化、新生コラーゲンを生成させることで、これらの症状を改善する治療法です。

【適　応】

硬化性萎縮性苔癬

項目	内　容
施術の流れ	① 問診、カウンセリング、内診を行います。 ② 外陰部に麻酔クリームを塗布し、15～20 分ラップで覆い、浸透させます。 ③ 麻酔クリームを拭き取り、外陰部の写真を撮ります。（施術前の状態を記録するためで、個人を特定することはありません） ④ 外陰部にレーザーを照射します。(約５分程度。症状に合わせて照射します。人によってチクチク感や熱さを感じる方もいますが、辛くて我慢できないような痛みはありません) ⑤ レーザー照射後、薬剤を塗布し冷却します。
施術効果	かゆみや痛みを伴う刺激感などの症状が改善されます。 白く変色した皮膚の色が、健康な状態に改善されます。（効果には個人差があります） 萎縮した外陰部にハリがでて、しわ、たるみの改善が期待できます。
リスクと副反応	照射直後、日焼けをした感じのほてり感、ヒリヒリ感、腫れが生じますが、2～3 時間ほどで落ち着きます。 照射直後の排尿時に、尿がしみる場合があります。
術後経過と施術後の注意	施術後３日間は、性交渉を避けてください。 公衆浴場などでの入浴は避けてください。 当日からシャワー浴は可、入浴は翌日からとしてください。石鹸はつけても構いません。 照射後数時間は、保冷剤で冷やすと楽になります。 レーザー照射後、外陰部にかさぶたができますが、数日ではがれます。個人差はありますが、かさぶたができることで多少のかゆみを感じる場合もあります。無理に擦ったり、きつい下着で圧迫しないように注意してください。 施術後１週間程度は、外陰部を清潔に保ち、処方された軟膏を塗布、保湿を十分に行って下さい。

【施術を受けられない方】

- 現在、生殖器感染症を罹患している方（カンジダ症、クラミジア、性器ヘルペス、淋病など）
- 現在、外陰部皮膚炎を罹患している方（乾癬、脂漏性皮膚炎、扁平苔癬など）
- 膣外陰部に過度な炎症(膣炎等)、粘膜・皮膚にトラブルのある方、またはその疑いのある方、皮膚の創傷治癒過程に問題のある方
- 膣・外陰部または子宮頸部に新生腫瘍のある方、疑いのある方（扁平上皮過形成、HPV、線維腫、VIN、CIN 等）
- 子宮脱の方（ICS POP-Q　Stage ≧Ⅱ）
- 妊娠または妊娠の可能性がある方、授乳中の方
- 生理期間中の場合
- TVM(経膣メッシュ)手術後のびらん副作用のある方

咲江レディスクリニック

硬化性萎縮性苔癬同意書

私は、この施術について十分な説明を受け、内容を理解いたしましたので、本施術を受けることに同意します。

【ご予約の変更・キャンセルについて】

別紙「キャンセルポリシー」を確認し、その内容を理解したうえで、遵守することに同意します。

同意日：　　年　　月　　日

署　名: